

2022年9月21日
報告者 後藤

愛南町ぎょしょく授業レポート

日時	令和4年9月8日(木)
訪問先	A. M 市川市立柏井小学校
	P. M 市川市立若宮小学校
参加者	後藤

・ぎょしょく授業伝道師の最終試験の為、9月8日に行われたぎょしょく授業で午前中 柏井小学校にて「とる漁業」の授業を、午後若宮小学校にて「育てる授業」を伝道師として初めて行いました。授業の内容よりも実際に授業を行っての感想や改善点を中心に報告していきたいと思います。

市川市立柏井小学校 「育てる授業」



・第一部のとる漁業は愛南漁協の梶田氏が行いました。とてもテンポよく生徒達を引き込んでいき、とてもメリハリのある授業でした。



- ・午前中第二部いよいよ授業です。授業中はとにかく必死でなんとか授業のパートが完了。授業で話す為に覚えた事は伝えられたと思います。
- ・梶田氏の時と比べて生徒の反応が小さくなってしまっていて、まだまだ授業のやり方や生徒へのアプローチに改善の余地があると感じました。
- ・梶田氏からは授業をおこなう側が緊張していると、その緊張が生徒に伝わって生徒もかたくなってしまおうという指導やまだまだ自信がなさそうに話しているという指導をいただきました。



楽しそうな生徒の表情



生徒さんは実際に魚に触れる時が一番楽しそうです



最後のジャッジ風景。どちらが愛南で育った養殖真鯛かをジャッジします。



柏井小の生徒さんから感謝の言葉をいただきました



校長室で給食をいただきました
左が愛南町役場の清水さん、右が愛南漁協の梶田さん

・若宮小学校で愛南の2名と給食を食べさせていただき
午後の授業へ…。午後は一番目に行く「とる漁業」の
授業をおこないました。



若宮小学校さんの給食は鯛めしでした

若宮小学校
「とる漁業」



自己紹介風景



授業風景。午前中よりは少し上達したような気が…

-実際に授業をおこなって感じた事-

- ①授業のレスポンスの大切さ…次に出てくる画面、話すべき事を準備してスムーズに授業をしていかなければならない。(テンポ良く)
- ②子供達とのキャッチボールの大切さ …子供達を飽きさせない為に質問や挙手での多数決をするのですが、決められた回答を用意するだけでなく子供たちの意見を拾い上げ、どんどん授業に参加してもらい、結果として授業に集中してもらえるようにしていかなければならない。
- ③メリハリのある授業をしなければならない…強調する所、ゆるく楽しくする所、一定のリズムではなく、強弱をつけて飽きさせない。

総括

今回伝道師として初めて「ぎょしょく授業」をやらせていただき、人前で(子供の前で)話す事の大変さを実感しました。

私自身、授業としてはもちろんですが、こんなに大勢の人の前で話をした経験もほとんどありませんでした。今回感じた事、うまくいかなかった事をしっかりと対策し、授業を行うたびに良い授業を出来るようにしていきたいと思います。

もっと場数をこなし、いろいろな事を経験し、授業や生徒達とのやりとりを楽しめるようになりたいと思います。

以上